



「英語が使える 15 歳」を目指して Part.1

## 幼児施設にも ALT を拡大 園 学校総務課

幼少期のうちに英語に慣れ親しむ機会を増やすことは、子どもたちが英語を楽しく学ぶ気持ちを育てるうえで大切です。令和3年度から、公立幼稚園への ALT（外国語指導助手）の派遣を始め、さらに令和5年度には各園に専属で ALT を配置しました。

そして令和7年度には ALT を大幅に増員。幼稚園だけでなく、保育園や認定こども園など市内の幼児施設で、子どもたちが英語に慣れ親しむ環境をつくりました。

「英語が使える 15 歳」を目指して Part.2

## 小張小学校を「英語教育推進校」に 園 教育指導課

令和8年度から、小張小学校を「英語教育推進校」とします。通常、ALT（外国語指導助手）は英語の授業の中で指導にあたっていますが、小張小学校では英語の授業だけでなく、学校生活全体を共に過ごしていきます。また、小張小学校の規模ではこれまで ALT が1校で1人だったところ、3人（2学年に1人）配置します。

英語に触れる機会を増やすことで、英語によるコミュニケーション能力の向上を図り、グローバル社会で活躍できる人材を育てます。



### 【英語の授業以外にも充実】

体育や図工、生活、音楽、総合的な学習の時間など、英語の授業以外にも ALT と英語で触れ合います。



### 【英語でコミュニケーション】

毎日の朝の会や休み時間、掃除の時間など、日常的に英語でコミュニケーションをとります。



### 【英語にあふれた教育環境】

英語を身近に感じるように、校内掲示物に英語を併記するほか、英語のプレイルームも設置します。